

第54回「グループホームたなお」運営推進会議議事録

日 時：令和8年3月28日（土）14：00～15：00

場 所：グループホームたなお

出席者：ご家族7名、高齢介護課職員1名、GHスタッフ1名、GH管理者

※会議冒頭13：55より避難訓練を実施、職員を含め日時、出火場所を伏せての実際に即した訓練を実施した。ご家族にも一緒に玄関外へ避難して頂いた。

⇒全員避難するまでに要した時間10分

⇒会議は夢の華ユニットで行っており、出火場所は希望の華ユニットだったが、すぐに非常ベルを鳴らし建物全体に火災を周知することができず、夢の華ユニットが避難開始するまでタイムラグが生じた

⇒避難訓練日時及び出火場所を事前に伝えると、当日出勤者のみがマニュアルを確認することにつながる為、1カ月以内に訓練を行うとだけ伝え、あとは伏せて毎回出火場所を変えることで、火点を通らずに避難経路をその都度判断できるように訓練している

1. 前回会議からの運営状況について（1月24日～3月27日分）

1) 入退居について（3/27日現在）

- ・入退居者 : 退居者2名（死亡退去2名 内1名看取り）※4月に2名入居決定
- ・待機状況 : 待機者11名（男性3名、女性8名）
※前回会議より新規申し込み5名、キャンセル8名、入居決定2名
- ・入居者数 : 16名 夢の華 : 8名（男性0名・女性8名）
希望の華 : 8名（男性0名・女性8名）
70代…2名 80代…3名 90代…11名 100歳以上…0名
平均年齢 : 90.2歳（78歳～99歳）
平均入居日数 : 1744.0日（238日～3,267日） ※5年以上7名
介護度 : I…10名 II…1名 III…3名 IV…0名 V…1名 平均介護度 : 1.7
- ・月間稼働率 : 1月…96.8% 2月…95.8%

2) 職員の異動について

- ・入職者 : 2月夢ユニット正社員各1名（特定技能）
- ・退職者 : なし
現在 常勤職員 : 12名（正規職員11名）、非常勤職員5名
※特定技能実習生 計6名（ベトナム1名、インドネシア4名、フィリピン1名）
※その他外国籍職員 ブラジル2名、フィリピン1名
- ・育休中職員 : 1名（非常勤）※4月より復職予定
新たに1名（特定技能実習生）4月より産休に入る、現在その他1名妊娠中職員あり
- ・4月より管理者の夜勤勤務なし、減算申請の解除予定
- ・4月より職員の人事異動 夢⇒希望（介護主任） 希望⇒夢 3名（内1名正規職員）
夢ユニットに新たにユニットリーダー配置

3) 事故・急変・医療連携等について

☆事故・ヒヤリハット

・ヒヤリハット

転倒 7 件、離設 8 件、服薬ミス 1 件 計 16 件（前回比+5 件）

※転倒

- ・夜間帯、他者のトイレ介助中にセンサーが鳴り、介助後すぐに向かうが、すでに自己にて居室から出てきていた（2 件）
- ・歩行器を使用して歩きだしたが、数歩歩いた際に後方にふらつき転びそうになったが、職員が支え転倒はしなかった
- ・歩行時ふらつきのある方で、トイレに行きたいと言われ、車椅子を取って来る事を伝え廊下の車椅子を取り行っている間に、自己にて立ち上がり歩きはじめていた
- ・トイレに行った際、一旦職員が離れるとその後一人でトイレから出てきていた（3 件）

※離設

- ・GPS を持ち一人で散歩に行かれている方が、5 分で確認すると、いつもの散歩コースを外れて歩いていた（車で迎えに行く） ※同一者 8 件
- ・上記同一者で
 - ・迎えに行った際に、赤信号で交差点を横断していた
 - ・毘沙門通りの信号のない部分で道路を横断していた

※その他

- ・ベッド臥床時ベッドの高さが高いままになっていた

・事故発生状況：転倒 6 件、転落 3 件、服薬ミス 2 件 計 11 件（前回比-5 件）

※転倒

- ・トイレで排泄中、一旦スタッフが離れ、終わったら呼んでもらう様に声を掛けたが排泄後一人でズボン等を上げている際にバランスを崩し転倒
- ・日中居室で臥床中、センサーの入れ忘れでセンサーが鳴らず、一人で居室から出てきた際に転倒
- ・センサーが鳴り、スタッフが確認に行くと、すでにベッド下に座り込んでいた
- ・起床介助時、居室内で転倒していた。服を脱いでいた為、更衣時に転倒した様子
- ・車椅子に座っていたが、立ち上がり転倒（普段立ち上がれない人）
- ・スタッフが付き添いながら、シルバーカーで居室まである行って行ったが、ベッドに座る際に膝折れし、その際スタッフが支えきれずに転倒

⇒事故報告のお電話をした際、ご家族から「なぜ職員が付き添っていたのに転ぶのか」と問い合わせあり。後日管理者とご家族で転倒時の状況説明、対策など話し合いを行った

⇒対策としては職員のポジショニングの確認や介助技術の教育の確認 ※会議にて確認済み

※転落

- ・巡回時、低床ベッド（15 cm程度）から転落したのか、床で横になっていた（2 件）
- ・リクライニングソファからずり落ちて床に座り込み

※服薬ミス

- ・粉薬を手渡し、自己にて内服しようとした際に、手が滑り粉薬をこぼしてしまった
- ・内服した薬が翌日分だった（薬の内容は同じ）

※急変・医療連携等

- ・救急搬送 : 1名（当日死亡）
- ・盛田歯科訪問診療 : 4名
- ・訪問看護（笑福） : 週1回 ※別途医療保険による褥瘡管理2名終了
- ・コロナ、インフル、ノロの陽性者 : スタッフ、利用者共になし

4) 身体拘束・虐待防止について

- ・身体拘束、虐待防止のガイドラインに設定されている事項については該当なし

5) イベント関係について

- ・来訪イベント : わんとほーむ（動物介在）
- ・ホーム内イベント : 新年会
- ・個別外出 : 散歩・個別外出、初詣

☆イベント、普段の様子についてはパワーポイントで

6) 新型コロナウイルス・インフルエンザ感染拡大防止対策

☆感染予防対策 : 変更無し

7) 研修参加状況

オンライン法定研修参加（1月～2月分）

- ・1月 緊急時の対応に関する研修
- ・2月 非常災害対策 BCP に関する研修

階層別研修

- ・介護実践力基礎コース 「介護福祉人材としてのキャリアを考える」
- ・管理者の為の組織マネジメント実践コース

「1年間の成果振り返りと次年度の経営戦略設計」

外部研修

- ・碧南市サービス連絡協議会 防災研修
- ・要配慮者利用者施設向け「BCP 策定講習」
- ・碧南市認知症サポーターステップアップ研修

☆講師

- ・安城市デイサービス部会 認知症研修
- ・碧南市認知症サポーターステップアップ研修

8) 行政・地域・関係機関との連携

- ・棚尾地区自主防災会議出席
- ・地域福祉推進会議出席
- ・オレンジフェスタ実行委員会出席

9) 利用料の検討について

- ・ 開設時より利用料の値上げは行わず、運営しており、会議でも「値上げは極力行わずにやっていきたい」と話してきたが、現在の物価高が想定以上の物になってきており、経営にも影響が出始めてきた。市内の GH でも値上げなどが行われている状況（※別紙市内 GH 料金比較参）
⇒食材料費を現状の 1 日 1,200 円⇒1,500 円へさせて頂きたい。
⇒5、6 月ごろからの変更を予定している
⇒※参加いただいたご家族からは利用料変更については全員承諾を頂く

10) その他、意見交換

- ・ 介護度が I ～ V までの方がいるが、普段のケアは大変ではないか？
⇒全員が介護度 V となるとグループホームの特性は活かせなくなるが I の方もいて V の方もいる状況だと、介護度の軽度な方が重度の方の食事介助を手伝ってくれたり利用者同士の支え合いが生まれるため、それらも大切にしている。
- ・ その他ご意見なし

次回運営推進会議 5 月 23 日 14 : 00～